

ごあいさつ

コール・ロータス顧問 田 中 早 苗

昨年四月に生まれたばかりの当合唱団が、発足以来一年も経たぬ内に、こうして第一回演奏会を開催出来ますのも、ひとえに皆様方の暖い御支援の賜物と深く感謝している次第です。もとよりアマチュアばかりの集まりですし、更に総員僅か五百名足らずの医学部学生の男性ばかりという特殊な事情もありまして、その演奏にも専門的にみて未熟な点が多いことかとも思われますが、青春の情熱をこめて力一杯に歌いあげる彼等の姿をお認め戴いて、御指導御批判を賜わりますように願ってやみません。とかく、日常の多忙な生活におわれて、私達の心も、ともすればすさまじなものですが、音という媒体を通じて何物かを真摯に求めつづけている彼等の作り出す世界に、私も皆様と共に、今宵は心豊かに遊びたいものと考えています。

おわりに、この合唱団が、誰からも愛される、学生らしい若さに溢れた団体へと成長して行くことを願って、御挨拶に代えさせて戴きます。(岡山大学医学部第一外科助教授)

第1回の演奏会によせて

本日私達が第1回の定期演奏会を開催できることは、皆様の深い御理解と御協力によるものと一同心より感謝致しております。

岡山に本格的な男声合唱団を作りたい——これが私達の長年の夢でした。毎年の「朝日全国合唱コンクール」で「同志社が…」「岡学が…」と聞く度に、私達は指をくわえて嘔嘔くのみでした。然し、昨年4月下旬、機密して当医学部内に始めて男声合唱団らしいものが結成されました。以降30余名の团员は、創造の喜びに燃え、若人の意氣と力を合唱運動ひとすじにうちこんで来ました。でも私達には数多くの障害があります。医学部全体の学生数が極めて少いこと、中核ともなるべき上級生が僅かであること、更に構成員の半数近く進学課程の諸君は津島の教養講義に在る事等、しかし乍ら、夏冬2回の合宿、春秋2回の県下合唱祭参加に通じて我々の団結は堅くなるばかりです。本年はコンクールにも参加すべく、夢は途方もなくふくらんでいます。望みは大きく、力は微々たるものであります。日頃の私達の成果を皆様の前に御披露し、歓しき御批判を得て今後の一層の発展に資したく存じます。

終りに、本演奏会の開催にあたり、種々御配慮御支援いただいた皆様、並びに御後援頂いた、日本ビクター株式会社、山陽放送株式会社、岡山大学医学部学生会に厚く御礼申し上げます。

コール・ロータス・メンバー一同

1st CHOR LOTUS RECITAL

Männer Chor

指揮 武内成礼

1962. 1. 24 (水) P. M 6:30

於 岡山・翠川会館

主催 Chor Lotus

後援 日本ピクター株式会社

山陽放送株式会社

岡山大学医学部学友会

Lotusとは

英語のロータスは、ハスとスイレンをあわせた呼び方である。

スイレンはヒツジグサの漢名であり、古代エジプトには「神聖なロータス」として絵画や彫刻にあらわれている。以来エジプトの國花となり、花言葉では「心の純潔性、誠実」をあらわしている。

ハスはハチスの略語で果実に入った蓮房(花たく)が蝶の巣に似ている事をあらわしている。インドの古代民俗では女性の生殖を象徴し、多産、力、生命の創造をあらわし、その意味がひきのばされて、幸運・長寿・健康・名誉など、あるいは大地とその創造力・神聖・不死などのシンボルにもなっていた。

又ギリシャの伝説には食蓮人 Lotus eater という言葉がある。それは「ロータスの実をたべてすべての心配を忘れ、安逸に世を遊った人々」のことである。つまり我々は Lotus eater といふわけです。



広大な原野、厳しい自然、長年にわたる圧政、これらの生地の上に生まれ育ったロシア民謡。それは非常に強烈な個性、奥深い声とでもって頬わざれでのみ、その本来のロシア民謡たる面目を發揮するものであろう。

1. 十二人の盗賊

磯部 淑 訳詞編曲

2. カリヌカ

安井二郎 詞曲
加藤磐郎 編曲

3. 鐘の音は単調に鳴りひびく

合唱團白木華 詞曲
加藤磐郎 編曲

4. カチューシャ

石丸寛 詞曲
福永陽一郎 編曲

5. 暗い夜

ボゴスラウスキエ 作曲

・十二人の盗賊

ロシア民謡の中での盗賊というのは、ふつうの泥棒のことではありません。「ツァーリ」のひどい圧政や、貴族達の目に余る掠奪に悩む大衆をひきいて、敢然と戦った農民暴動の指導者たちです。ロシアの大衆は、そういう英雄をたたえて、長い叙事詩に托して語りつぎ、唄いついで来ました。

・カリヌカ

多勢が集まれば唄う。例えば誰からともなく踊り出す。カリヌカは、結婚の花嫁を祝う踊りうたです。「カリヌカ」と云うのは、赤い実のなる可愛らしい花「カリーナ」の愛称で、花嫁の象徴として用いられます。

・鐘の音は単調に鳴りひびく

固く誓った愛もむなしく、恋人にすてられた若者の心に、うつろにひびく遠くの鐘の音。若者は一人さびしく、あてどもない旅に出るのでした。特種

な発声で頬わざれるテノールのソロがむせび泣く様に流れ、皆様の心に、しみ入る事と思います。

・カチューシャ

原曲は、前線に向う兵士と故郷に残って、恋人の帰りを待つ娘との間に交わされる愛の歌ですが、ここでは、石丸寛の訳詞に合わせて編曲されており、祭りの夜、舞い狂う村の人気娘カチューシャを囲んで若者達が、やんやと、もてはやす様子を唄ったものです。

・暗い夜

冷たい風の吹く前線の夜、今まで共に戦って来た戦友を失った兵士の深い悲しみを唄ったものです。しかしその悲しみの底には、新たな決意と祖国愛、勝利への確信が脈打っています。バスのソロが悲しく、しかし、しっかりと唄い出します。(S.T)

男声合唱のための組曲「蛙の歌」

草野心平作詩
南弘明作曲

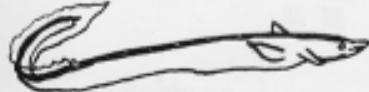
この組曲は、草野心平の詩に、南弘明が作曲したもので、1955年芸大芸術祭に於いて作曲者自身の指揮により初演されました。曲は蛙が冬眠から覚めて、春、夏と活動し、又秋が来て元気を失い冬眠していくさまが歌われ、曲全体を通じて、異様なまでのムードで歌い上げられます。我々には耳新らしい音が可成り使用されており、大変面白い曲です。男声合唱組曲として非常にすぐれたもの一つで、わたくし共ロータスの部員一同、大いに意匠をもやした曲でございます。

1. 小曲

月の面に雪が降り……地上は未だ雪が降っている。土の中には、何万もの蛙達が、うつらうつらと眠っている。そろそろ春を待ち焦れて目を開きはじめることだろう。でもあたりは、未だ物音一つしない静けさである。

2. 亡靈

「蛇が蛙に」食べられたり、「蛇が蛙を見て」逃げてゆく様子を、嘲り笑う異様な雰囲気の曲。目切り蛙が蛇に対して惹いている劣等感が、裏返しになって、妄想として発散される。半音階や、平行五度が、不気味な効果をかもし出す。



3. 鰐と蛙

カキタケコ、ワリルレロ、ガギグゲゴと蛙が沢山鳴いている。（蛇なんて何だい！）その鳴き声がぴたりと止む。一瞬の静寂。「なあんだ鰐だ。鰐が通るんだ。」そして蛙達は、また鳴きはじめる。何と強がりを云ってみても、やはり蛇はこわいのだろう。奇怪な中にも憎病者のおどけた様子が歌われている曲。姿は醜い蛙である。だがどこか懐めぬ愛すべき一面が、ここに潜んでいるのかも知れない。

4. 蛇祭り行進

びるるるーっ、びるるるーっ、はっはっはっふふふふふふーー後足だけ生えた数万の蛙が地の上に、はいつくぼっている。「今や僕らの世界だ。歌え歌え。箇竹に青大将をつきさせて行進するんだ。進め進め。おーい歩調を合わせろーい。……」（急に静かになる）真っ暗やみの青田んぼを、たばこの輪の様に、ゆらゆらして螢たちが上ってゆく。（シッとそれを見る蛙）…………「何の事はないさ」再び行進を始める。「進め進め、ロンド、ロンド、踊れ踊れ——。」

5. 秋の夜の会話

もうそろそろ冬ごもりの季節である。あれほど威勢のよかつた蛙達も、秋風が身にしみる頃となつた今では全く元気がない、静かなハミングを背に二匹の蛙が「寒いね。」「土の中はいやだね。」と掛け合を始める。「どこがこんなにせつないんだろう。」「腹だろうかね。」「腹とったら死ぬだろうね。」「死にたかあないね。」…………虫の音が、澄み切った夜空に、さえわたる。小曲と同じものを短調で流してあり組曲全体を、まとまりのある引きしまったものにしている。（S.T）

国籍の区別なく、広く世界の人々に親しまれた曲を歌うことも私達の楽しみとするところです。最初の2曲は「海の歌」シーサンティと呼ばれるものです。帆船時代の水夫達が帆網を扱う時、甲板で憩う時、出帆の時等に歌う労働歌として広く歌われ、又すぐれた芸術性の故に男声合唱のレパートリーとして見逃すことは出来ません。残りの2曲は云うまでもなく映画の主題歌です。

1. Rolling home!

北村 協一 編曲

「家路をさして」

2. Shenandoah.

武内 成礼 編曲

「シェナンドア」

3. The call of the far-away hill.

福永 陽一郎 編曲

「遙かなる山の呼び声」

4. The green leaves of summer.

武内 成礼 編曲

「遙かなるアラモ」

Rolling home! 「家路をさして」

元来イギリスの舟唄でしたが、イギリス人の新大陸移住とともに、いつしかアメリカの水夫達にもひろく歌われるようになりました。遠く船出した船が様々の危険を冒してようやく、故郷の港に近づいた。なつかしい故郷の山々、妻子を思い浮べて、たくましい水夫達もなつかしさにたまらず口づさむのがこの歌なのです。

Rollin home, rolling home across the sea, Rolling home
Fair-land to the! 旅人は家に帰る、郷から帰る……

Shenandoah 「シェナンドア」

「Rolling home!」と同じく、アメリカの水夫達の歌ですが、このメロディーもカナダ地方のフランス人やイギリス人の間にも広く歌われています。もとは旅先で会うインディアンの酋長の娘「シェナンドア」に恋がれて歌ったもので、南北戦争以後、いつからか船乗り達がキャプスタン（網を巻く道具）を巻く時歌うようになったものです。

Oh, shenandoah, I long to see you, away you rolling river,……

The call of the far-away hill. 「遙かなる山の呼び声」

往年の名曲「シェーン」の主題歌。映画音楽作曲家の巨匠ヴィクター・ヤングの傑作です。

山々が平原に影を落し、日が色あせると聞えるは山の呼び声
はてなき荒野に憩いの家なく 落ち葉をめざまよう我に

聞えるは山の呼び声

主役アラン・ラッドと子供との交情、印象的なラスト・シーンも想い出します。

The green leaves of summer 「遙かなるアラモ」

この曲も最近話題の映画「アラモ」の主題歌。この映画はジョン・ウェインが製作、監督、俳優との3役を演じて作られたもので、物語はテキサスの自由を守るために“アラモの砦”でメキシコの造反軍と戦った人々を描いたものです。曲はアカデミー賞を4度受賞した有名なディミトリ・ティオムキンの作曲による。

黒人靈歌

新大陸開発の労働資源として、遠くアフリカから送られた不幸な奴隸達の悲惨な生活、その救いのない毎日を過すことのできたのは、目ざめた少數の白人宣教師に依って伝えられた神の福音を唯一の頼りとして苦しい労働にも耐えたからです。福音の集りに於て誰からともなく新約聖書の使徒書箇にある「靈の歌」が歌われ、他の人々がこれに合唱する時には踊りも加る、次に讃美歌が加る……こうして次第に成長していったのが Negro spiritual (黒人靈歌) のことです。深い悲しみと熱烈な神への信仰がうかがわれます。

1. Set down servant!

横山 昭 編曲

「静まれ人々よ！」

2. I'm goin' home.

福永陽一郎 編曲

「家へ帰ろう」

3. Soon a will be done.

福永陽一郎 編曲

「やがて終りの日が」

4. He never said a mumblin' word.

武内成礼 編曲

「一言も洩らさず」

5. Go down Moses.

福永陽一郎 編曲

「ゆけモーゼ」

Set down servant 「静まれ人々よ」

この世に頼るべき何物もない黒人達は、いつも神に願う…「神よ、あなたは私に白い衣とタブトを約束なさった、あの天使に…おいら一側の足にはかせ給え！」とパリトンが歌う。

I'm goin' home 「家へ帰ろう」

バスのソロがメロディーを歌い合唱がこれに続く。黒人達が心から想える家とは天国だけなのです。彼等の苦しみ悲しみが私達の胸をしめつける悲痛な曲です。

Goodbye I'm goin home mother will be dere

Bruder I'm goin home.....

Soon a will be done 「やがて終りの日が」

死期を前にして天国への憧れを歌ったもの、天国に行けば先立った母にも

会える……だが、やがて終りの日が…Yes! I'm goin' to live wid God! 現世にあきらめ切ったさらさらした調子から神への熱烈な思慕が歌われる。

He never said a mumblin' word 「一言も洩らさず」

キリストの処刑の悲劇を歌う悲情な曲。

“彼等は我が主を十字架につけ、槍で脇腹を刺し、血は滴り、頭を垂れ、主は死に給う。一言も洩らさず…………”

Go down, Moses 「ゆけモーゼ」

もっとも古い黒人靈歌で、自由と解放を求めるイスラエル民族をエジプトの捕われの地から救ったモーゼを歌った曲。

エジプトの地より民を放て、烈しき悩みより民を放て

行けモーゼ、エジプトの地に言え、ファラオに「民を放て…」と

さて、ロータスの演奏会も最後のステージとなりました。ヨシア民謡、アメリカの歌、黒人靈歌と外国の土地に生れ育った歌を多く歌って参りましたが、我々自國の歌を忘れてはございません。我々日本人も昔から唄いつがれた立派な歌の類を有している事を誇りとせずには居れません。

おおらかで、素朴で、屈託がなく、生きしい生命の通った日本民謡、古謡の数々は、合唱を愛する我々にとって、最良の素材を提供してくれます。ここに集めました五曲は、いずれも皆様におなじみの曲ばかりです。

1. 大島節

伊豆大島民謡
福永陽一郎編曲



2. 今様

日本古謡
日安井義雄編曲

3. 南部牛追歌

南部地方民謡
清水脩作曲

4. 最上川船唄

山形民謡
清水脩作曲

5. 会津磐梯山

会津地方民謡
武内成礼編曲

・**大島節** 大島といえば三原山と櫻を思い出す位である。古くは「島節」として島を訪れる者を喜ばしてくれたものだが、今では、その地方色もうすれて一種のお座敷唄になってしまった、と嘆く御老人も居るという。

・**南部牛追い唄** 汽内三千石サーサー お米の出どこヨー
つけて納めたサーサー お萩茶コーラテンサーサー
ハラヨー バッババー シッキョホイ

『南部牛』で有名な岩手県南部地方の民謡を素材としたもので、道中歌である南部牛方唄と混同されがちだが、牛追唄の方は牧歌である。

・**今様** ……待つ宵のふけゆく鐘の声聞けば、
帰るあしたの島はものかは……

大将かの女房（待宵）を呼びいだし、昔、今の物語りして、小夜もやうやうふけゆけば、古き都の荒れゆくを今様にこそ歌われけれ。

「古き都を 来て見れば 浅茅が原とぞ 荒れにける
月の光は 観なくて 秋風のみぞ 身にはしむ」

と三べん歌いすまされければ、大富を始めまるらせて、御所中の女房たち、みなそぞぞぬらされける。（平家物語ヶ月見より）

・**最上川船唄**

酒田サー行ぐはげ 達者でろーちゃ はやり風和など ひかねよに
酒田サー色街 鴨いて通るからす 銭ももたずに 買お買おと…
最上川の急流を乗り切る船頭達の男性的なたくましい唄で、これらの民謡を通じて当時の人々の生活の一端が、わずかながらうかがわれる様な気がします。清水脩氏が、合唱曲として作曲して以来、男声合唱のレパートリーには欠かされぬ名曲となりました。

・**会津磐梯山** 福島県会津地方の民謡。これは元来磐梯県で会津では単に登躍りと云っており、踊りはカンショ躍と呼んだ様です。カンショは方言で狂人じみていることを意味します。小畠勝太郎が昭和十年ごろ、早まの曲にして景気よく歌い、一種全国的に知られるようになりました。（S.T）

Members of Chor Lotus.

Tenor I			Tenor II			Bariton			Bass		
栗屋研吾	有道徳	大川元	臣夫	小川紀雄							
奥田博之	今城保一	大島昭	光重	須原銀兵衛							
郷原真清	内田純成	古元	士敦	竹内正光							
高杉潔	尾崎草成	下庄	達夫	長野義護							
中村善信	小西秀信	薗田智	介人	林英生							
中山崎泰弘	高杉先熟	坪井	茂修	平松平勝							
和田久宣	中屋秋爾	西橋	浩三	前島敏仁							
	藤沢義人	広瀬	正治	三村恭永							
	官田栄一	藤崎	堅造	安田正幸							
指揮者 武内成礼											

“Chor Lotus の歩み”

1961. 4. 17	コールロータス結成	11. 2	岡大大学祭出発
4. 21	練習開始	11. 26	秋季合唱祭
7. 9	春季合唱祭	12. 25~28	合宿訓練
7. 14~17	佐島にて合宿訓練	1962. 1. 24	第1回定期演奏会

かせに…アビボン

効きめの早い…アンブル
頑固なかぜに…カプセル

その他 シロップ
錠剤 トローチ

ヤマハピアノ・オルガン



太田洋行

岡山・上之町／電 ②4948・③6752

各社レコードの御用命は
最高の在庫の店で

栗山楽器店

TEL ②3624・6480



かぜにズバリ お選び 下さい

かぜ薬にはズバリ、中外製薬のアルペンをお選び下さい。鼻かぜや頭痛、熱などに効く強力成分を適切に配合したのみよい薬です。ことにせき止めの新薬「塩酸ナルコチン」

かぜの回復を早めるビタミンもタップリ配合しております。

- 25錠 140円・60錠 280円
- 11本のんで効く…アルペン内服液
新薬…1本 100円
- お子様には甘くてのみよいアルペンシロップ…1本 100円

アルペン

東京・日本橋・本町 中外製薬



カワイ



KAWAI ピアノ・オルガン

本社 横松

株式会社 河合楽器製作所

岡山支店・岡山会館四階 TEL 3-9401

岡山営業所・岡山柳川町一 TEL 3-9561



カワイちゃん

